



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場会社名 株式会社 デサント

上場取引所 東 大

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	36,732	△0.6	1,646	△1.3	1,748	0.1	1,314	25.7
22年3月期第2四半期	36,938	△6.9	1,667	△38.3	1,745	△38.4	1,046	△29.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	17.44	—
22年3月期第2四半期	13.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	59,893	40,517	40,517	67.6	67.6	537.58
22年3月期	60,898	40,595	40,595	66.2	66.2	534.68

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 40,517百万円 22年3月期 40,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	2.6	3,700	19.8	3,800	15.7	2,200	19.2	29.18

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 76,924,176株 22年3月期 76,924,176株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,553,290株 22年3月期 1,537,417株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 75,383,457株 22年3月期2Q 75,391,319株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	
【第2四半期連結会計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
(1) 販売実績	13
(2) 海外売上高	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、新興国経済の回復等により企業業績に改善が見られるものの、個人消費については雇用・所得環境の不安により回復にはいたらない状況でした。海外経済は、欧米では金融財政不安はあるものの新興国とアジアが中心となり世界的には回復基調の状況を示しました。

当スポーツ業界におきましては、健康志向によるスポーツへの関心は高まりがみられましたが、消費者の高価格帯商品を中心とする買い控えの影響は大きく、厳しい状況となりました。

このような経営環境のなか、国内での販売につきましては個人消費の低迷の影響を受け低調に推移しましたが、海外での販売につきましてはアジアを中心に好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比0.6%減の36,732百万円となり、営業利益は前年同四半期比1.3%減の1,646百万円、経常利益は前年同四半期比0.1%増の1,748百万円、四半期純利益は子会社の法人税の還付等による法人税等の減少もあり前年同四半期比25.7%増の1,314百万円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチックウェアおよびゴルフウェアは消費低迷の影響を大きく受けました。結果、売上高は28,502百万円、セグメント利益は、1,347百万円となりました。

(アジア)

アスレチックウェアは韓国、香港、中国で概ね順調に推移しましたが、ゴルフウェアは韓国で微増ながらも香港、中国で苦戦が続きました。結果、売上高は8,213百万円、セグメント利益は438百万円となりました。

(北米)

北米はスキーウェアを中心とした事業を行っており、業績に季節的な変動があります。売上高は16百万円となりましたが、セグメント損失は109百万円となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内においては、サッカーのワールドカップ効果およびチーム受注システムの改善が功を奏し「アンブロ」が好調に推移しましたが、「ルコックスポルティフ」「アリーナ」が消費低迷の影響を受け減収となりました。海外においては、「ルコックスポルティフ」が好調に、「アリーナ」が順調に推移するとともに、昨年より展開の「デサント」も順調に推移し、結果、売上高は前年同四半期比0.1%増の19,887百万円となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内においては、消費低迷の影響を受けて「マンシングウェア」が大幅な減収となりました。海外においては、韓国や中国で「ルコックスポルティフゴルフ」が好調に推移しましたが、「マンシングウェア」は減収となりました。結果、売上高は前年同四半期比3.0%減の14,526百万円となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内においては、消費低迷の影響を受けながらも、山スカートに代表されるアウトドアブームにより「マーモット」が好調に推移しました。海外においてはスキーの受注回復により「デサント」が好調に推移し、結果、売上高は前年同四半期比11.0%増の2,318百万円となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は59,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,004百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ555百万円減少し、44,234百万円となりました。これは現金及び預金の減少709百万円、商品及び製品の減少141百万円、受取手形及び売掛金の増加411百万円が主なものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ449百万円減少し、15,659百万円となりました。

負債合計は、19,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ926百万円減少しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,096百万円減少し、17,300百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の減少656百万円、未払法人税等の減少354百万円が主なものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ169百万円増加し、2,075百万円となりました。

純資産合計は40,517百万円となりました。株主資本合計は42,038百万円となりました。

以上より、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5%増の67.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ739百万円減少し、13,979百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加582百万円に加え、仕入債務の減少543百万円、法人税等の支払額818百万円などがありましたが、非資金項目としての減価償却費548百万円、税金等調整前四半期純利益1,727百万円の計上などがあり、368百万円の収入超過(前第2四半期連結累計期間は、311百万円の支出超過)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得、直営店及び百貨店等における売場資産の取得などにより、467百万円の支出超過(前第2四半期連結累計期間は、36百万円の支出超過)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払527百万円などにより、527百万円の支出超過(前第2四半期連結累計期間は、323百万円の支出超過)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成22年5月12日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が67百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は79百万円であります。

② 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,348	15,057
受取手形及び売掛金	16,906	16,494
商品及び製品	11,044	11,185
仕掛品	76	128
原材料及び貯蔵品	377	393
その他	1,512	1,555
貸倒引当金	△30	△27
流動資産合計	44,234	44,789
固定資産		
有形固定資産	8,865	8,940
無形固定資産	755	791
投資その他の資産		
その他	6,312	6,622
貸倒引当金	△274	△245
投資その他の資産合計	6,038	6,376
固定資産合計	15,659	16,108
資産合計	59,893	60,898
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,243	12,899
短期借入金	250	200
未払法人税等	626	981
賞与引当金	784	770
返品調整引当金	513	451
その他	2,883	3,093
流動負債合計	17,300	18,396
固定負債		
退職給付引当金	812	730
役員退職慰労引当金	—	4
その他	1,262	1,170
固定負債合計	2,075	1,905
負債合計	19,375	20,302

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	13,660	12,872
自己株式	△652	△644
株主資本合計	42,038	41,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△376	△154
繰延ヘッジ損益	△4	△6
為替換算調整勘定	△1,138	△789
評価・換算差額等合計	△1,520	△951
少数株主持分	—	287
純資産合計	40,517	40,595
負債純資産合計	59,893	60,898

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	36,938	36,732
売上原価	19,805	19,232
売上総利益	17,132	17,500
返品調整引当金繰入額	41	62
差引売上総利益	17,091	17,437
販売費及び一般管理費	15,423	15,790
営業利益	1,667	1,646
営業外収益		
受取利息	51	26
受取配当金	25	24
受取補償金	—	44
その他	72	112
営業外収益合計	149	208
営業外費用		
支払利息	10	3
固定資産除却損	15	—
投資事業組合損失	20	—
為替差損	15	58
その他	10	45
営業外費用合計	71	106
経常利益	1,745	1,748
特別利益		
固定資産売却益	53	4
負ののれん発生益	—	192
特別利益合計	53	196
特別損失		
本社移転費用	—	152
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	65
特別損失合計	—	217
税金等調整前四半期純利益	1,798	1,727
法人税、住民税及び事業税	834	495
法人税等調整額	△85	△87
法人税等合計	748	408
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,319
少数株主利益	3	4
四半期純利益	1,046	1,314

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	21,676	21,938
売上原価	11,549	11,537
売上総利益	10,126	10,400
返品調整引当金戻入額	20	26
差引売上総利益	10,146	10,426
販売費及び一般管理費	8,217	8,191
営業利益	1,929	2,235
営業外収益		
受取利息	18	7
受取配当金	5	5
為替差益	—	74
その他	46	40
営業外収益合計	71	126
営業外費用		
支払利息	7	0
固定資産除却損	—	7
投資事業組合損失	20	14
為替差損	44	—
その他	18	5
営業外費用合計	90	26
経常利益	1,910	2,335
特別利益		
固定資産売却益	53	—
負ののれん発生益	—	26
特別利益合計	53	26
税金等調整前四半期純利益	1,963	2,361
法人税、住民税及び事業税	679	352
法人税等調整額	59	437
法人税等合計	739	789
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,571
少数株主損失(△)	△1	△0
四半期純利益	1,225	1,571

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,798	1,727
減価償却費	470	548
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	38	13
返品調整引当金の増減額(△は減少)	41	62
退職給付引当金の増減額(△は減少)	116	81
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△4
受取利息及び受取配当金	△77	△51
支払利息	10	3
売上債権の増減額(△は増加)	63	△582
たな卸資産の増減額(△は増加)	△412	△14
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,090	△543
その他	87	△192
小計	16	1,084
利息及び配当金の受取額	77	51
持分法適用会社からの配当金の受取額	79	53
利息の支払額	△10	△3
法人税等の支払額	△473	△818
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311	368
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	257	229
定期預金の預入による支出	△201	△323
有形固定資産の取得による支出	△165	△306
無形固定資産の取得による支出	△65	△88
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の償還による収入	—	100
子会社株式の取得による支出	—	△97
その他	143	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	230	50
配当金の支払額	△527	△527
自己株式の取得による支出	△1	△9
その他	△24	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323	△527
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	△177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△581	△803
現金及び現金同等物の期首残高	15,300	14,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,718	13,979

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(事業の種類別セグメント情報)

<前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)>

当社及び連結子会社の事業は、スポーツウェア及びその関連商品の製造・販売に関する単一の事業セグメントであるため、該当事項はありません。

<前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)>

同上

(所在地別セグメント情報)

<前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)>

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,863	3,809	2	21,676	—	21,676
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,346	9	—	1,355	(1,355)	—
計	19,210	3,818	2	23,031	(1,355)	21,676
営業利益又は営業損失(△)	1,522	423	△52	1,892	36	1,929

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

<前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)>

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	29,885	7,042	10	36,938	—	36,938
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,627	15	—	1,642	(1,642)	—
計	31,512	7,057	10	38,580	(1,642)	36,938
営業利益又は営業損失(△)	1,251	549	△197	1,603	63	1,667

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

(海外売上高)

<前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)>

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,483	13	940	5,437
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	21,676
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.7	0.1	4.3	25.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・スペイン、スイス、ロシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

<前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)>

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	8,044	22	949	9,017
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	36,938
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	21.8	0.1	2.5	24.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・スペイン、スイス、ロシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(セグメント情報)

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、スポーツウェア及びその関連商品の製造・販売を行っており、会社所在地の地域ごと(日本・アジア・北米)に製造販売拠点を置き、会社所在地の地域ごと(日本・アジア・北米)にそれぞれ各ブランドの包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、本社及び連結子会社を基礎とした会社所在地の地域別セグメントから構成されており、「日本」、「アジア」及び「北米」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,944	3,994	△0	21,938	—	21,938
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,398	0	4	1,403	△1,403	—
計	19,342	3,995	4	23,341	△1,403	21,938
セグメント利益又は損失	1,805	397	△22	2,180	54	2,235

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額54百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、棚卸資産の調整額92百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,502	8,213	16	36,732	—	36,732
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,502	1	4	1,508	△1,508	—
計	30,005	8,214	20	38,240	△1,508	36,732
セグメント利益又は損失	1,347	438	△109	1,675	△29	1,646

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去△32百万円、棚卸資産の調整額3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 平成22年3月期第2四半期		当第2四半期連結累計期間 平成23年3月期第2四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	19,875	53.8	19,887	54.2	11	0.1
ゴルフウェア 及びその関連商品	14,973	40.5	14,526	39.5	△446	△3.0
アウトドアウェア 及びその関連商品	2,088	5.7	2,318	6.3	229	11.0
計	36,938	100.0	36,732	100.0	△205	△0.6

(注) 第1四半期連結会計期間より、区分を変更しております。前第2四半期連結累計期間の金額及び構成比につきましては、当第2四半期連結累計期間の区分に対応する区分の金額及び構成比に変更しております。

(2) 海外売上高

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,462	13	1,220	5,695
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	21,938
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.3	0.1	5.6	26.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・ロシア、スイス、スペイン等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	8,919	29	1,270	10,220
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	36,732
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.3	0.1	3.4	27.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・ロシア、スイス、スペイン等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。